

# 西中学校評価だより

UNESCO・西中  
 自立、共生、貢献  
 2022・10・31

「見附市共通アンケート」「学校独自アンケート」や「CRT検査（標準学力検査）」の結果をもとに、西中学校の前期教育活動についてお知らせします。

※今回の学校評価の判定基準を、「見附市共通アンケート」「学校独自アンケート」での肯定的評価が80%以上を「A」、70%以下を「C」として見ていきます。

## 知 <確かな学力の向上>



### 1. 学力テストの結果

年度当初の4月に実施したCRT（標準学力検査）の結果  
 ※標準スコアとして、全国の標準正答率を50で表します。

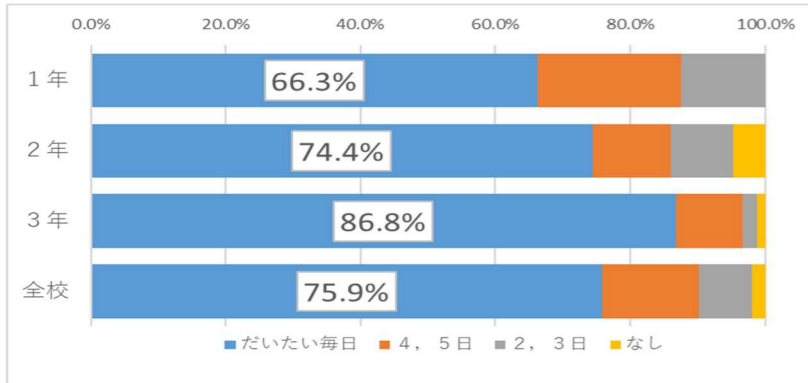
	国語	社会	数学	理科	英語
1 学年	50.4	48.3	51.2	47.9	50.2
2 学年	51.4	48.8	50.5	50.4	51.9
3 学年	49.9	50.5	50.6	50.0	51.3

おおむね全国標準正答率と同じ結果でしたが、社会や理科を苦手としている傾向が見られました。3年生で実施された全国学力・学習状況調査では、記述式の正答率が全国平均を大きく上回る結果となりました。

### 2. 学習への取組

(1)「自ら学ぶ意欲・態度の育成と定着（家庭学習習慣の定着）」の取組について

①【家庭学習の日数】一週間に何日くらい家庭学習をしていますか。（宿題、学習塾を含む）



評価：A (90.2%)  
 肯定的評価（4、5日以上）は全校で約90%にもなります。3年生では、「毎日」取り組む生徒が約87%で、学年が上がるにつれ、学習習慣が身につけていることが分かります。今後も自主学習の指導を継続していきます。

②【家庭学習の時間】「ふだん（月曜～金曜）1日あたりどのくらい家庭学習（宿題、学習塾を含む）をしていますか。」

評価	1年	2年	3年	全校
120分以上	1.1%	4.6%	2.2%	2.6%
90～119分	6.7%	8.0%	17.8%	10.9%
60～89分	55.6%	63.2%	40.0%	52.8%
50～59分	33.3%	19.5%	36.7%	30.0%
40～49分	2.2%	3.4%	3.3%	3.0%
30～39分	1.1%	1.1%	0.0%	0.7%

1日平均85.7分で、昨年度とほぼ同じ結果となりました。全体的には60～119分取り組む生徒が多いです。また、昨年度と比べ、1・2年生で予習に取り組む生徒が増えました。

3. 「学びの過程を工夫し、資質・能力を高める」取組について

①「学校独自アンケート」で、授業に対する学習状況を聞きました。

①「もっと学びたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって、集中して授業に取り組むことができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
91%	96%	95%	94%	95%	92%	96%	94%	93%	88%

②今学期に学んだ授業の内容を理解したり、技能を身につけたりすることができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
92%	90%	93%	91%	91%	91%	92%	93%	92%	89%

③ノートの取り方を工夫したり、話し合い活動に積極的に取り組んだりすることで、新しい気づきを得たり、より理解を深めたりすることができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
84%	90%	89%	85%	85%	87%	91%	94%	91%	91%

評価：A  
 授業に対する意欲や理解は、例年90%を超える高い評価を生徒からしてもらっています。今後は、より一層の「深い学び」に向けて、ファシリテーションスキルの手法やICTの活用を進め、指導の工夫と改善に努めていきます。



## 【知について】

☆ファシリテーションスキル・ICTの活用を工夫し、学習意欲の向上に努めます。

話し合い活動で参加や発言を促す手法のファシリテーションを取り入れ、協動的な学び合いを展開してきました。各種の学習状況調査から「話すこと」「聞くこと」の観点で全国平均を大きく上回る結果を得ました。学習内容の理解が深まることで、学習意欲の向上が図られています。今後も生徒の実態把握に努め、意欲が高まる最適な学習方法と評価の工夫改善を努めていきます。

☆家庭での自主学習の指導に努めます。

CRTテストの結果から、社会科や理科を苦手としている生徒がいることがわかりました。2教科とも学習内容を定着させるためにドリル的な復習学習が必要な教科です。今後も家庭学習の指導や計画づくりに努め、基礎的・基本的内容の定着を図り、家庭での自主学習の取組を奨励していきます。

## 徳 <豊かな心の育成>

1. 「自立心・自律心の涵養による社会性の育成」の取組について

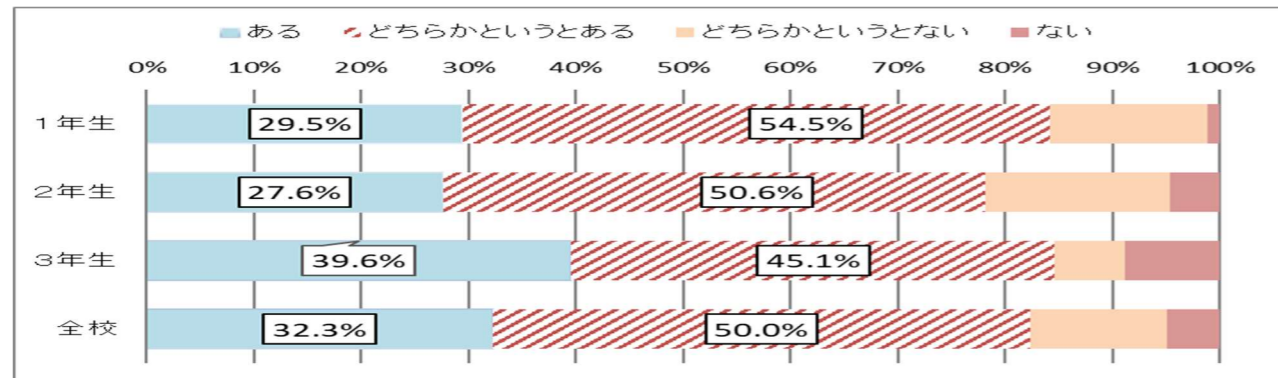
質問	※見附市共通アンケート・全国学力学習状況調査より	回答	評価
①	【地域へあいさつ】地域の人にあいさつをしている。	88%	A
②	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。	85%	A
③	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。	95%	A
④	人の役に立つ人間になりたいと思っている。	97%	A

今年度も生徒会を中心としたあいさつ運動が活発に展開され、地域へのあいさつも高い評価につながっています。また、失敗を恐れずに挑戦する意欲が昨年度より向上しました。



## 2. 『自己存在感』『自己肯定感』がもてるよう一人一人の良さを生かし認める」取組について

【自己の肯定感】 自分には良いところがあると思いますか。



評価：A (82.3%)

市内の肯定的評価の平均が80%を超えていないなか、西中学校は80%を超え、全国平均も上回りました。学年別で見ると3年生の評価が高く、85%を超えています。また、「どちらかというところがない」・「ないと思う」生徒の割合は減少しました。保護者アンケートでは「お子さんのよいところをほめていますか」の肯定的評価が96%を超え、昨年度よりも増加しました。今後も学校・家庭が連携して、生徒たちの活動を称賛、奨励する場面を増やすことに努めていきます。

## 【徳について】

### ☆豊かな心の育成に努めます。

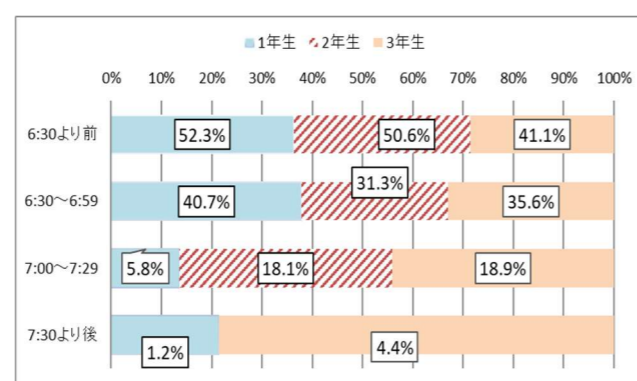
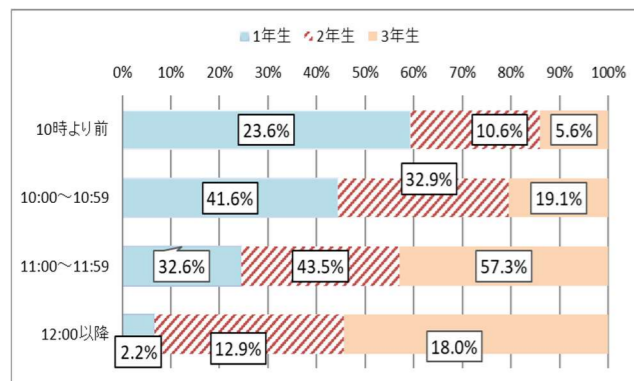
生徒アンケートでは「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」が95%を超え、お互いの考えや意見を受容する力が育ってきています。この力の育成が、失敗を恐れずに挑戦する意欲の高まりにつながったと考えています。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」・「友達と協力するのは楽しいと思う」と回答する生徒の割合も県平均や全国平均を大きく上回っています。今後も「他者を思いやり、互いに認め合う」こと、「達成感をもち、自己肯定感を高める」ことにつながる活動を展開していきます。

## 体 <健やかな体の育成>



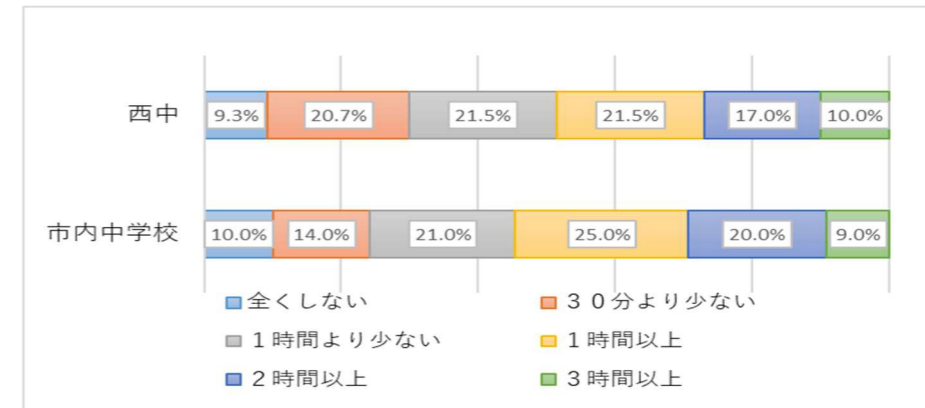
### 1. 「基本的な生活習慣の確立」の取組について

(1) 【就寝時刻】 ふだん、何時ごろ寝ていますか。(2) 【起床時刻】 ふだん、何時ごろ起きますか。

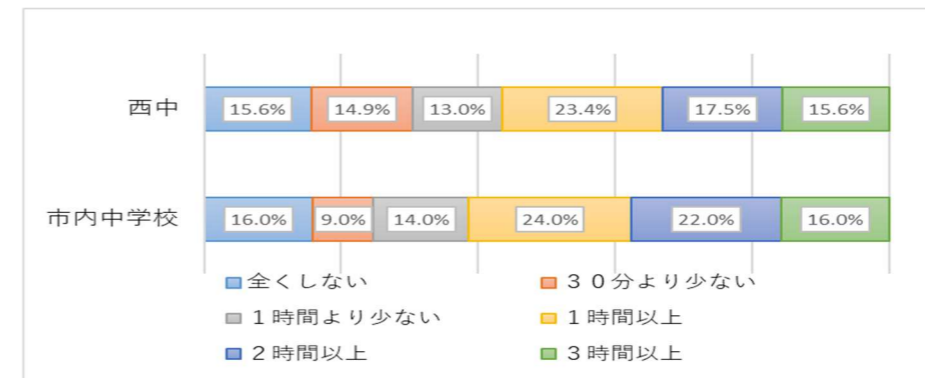


## 2. 「メディアコントロール」について

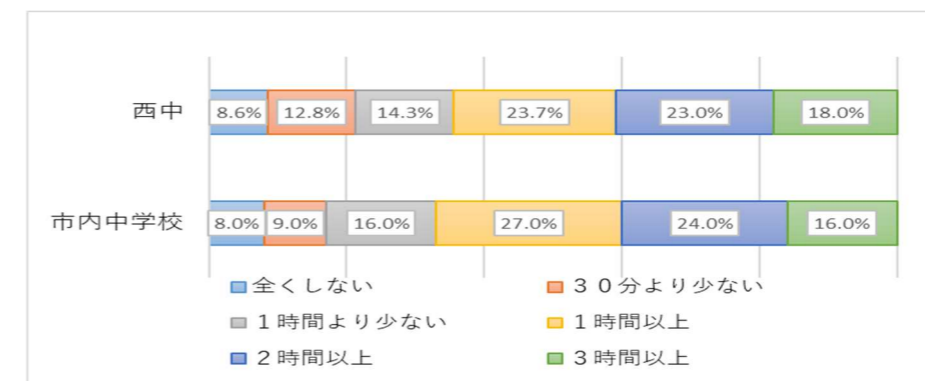
(1) 【メディア視聴時間】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



(2) 【ゲーム使用時間】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどのくらいの時間、ゲームをしますか。



(3) 【通信機器の使用】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール（ラインなども含む）、インターネット（YouTubeなども含む）をしますか。



## 【体について】

### ☆基本的な生活習慣の確立と体力づくりの推進に努めます。

メディア使用の時間が昨年度よりも増加し、睡眠時刻が遅くなって、基本的な生活習慣の確立に影響が出ています。成長期には質の良い睡眠と食事のバランスや適度な運動習慣が大切です。保健だよりや食育指導を通して、御家庭との連携を進めていきます。引き続き、御協力をお願いいたします。



## 【就寝時刻・起床時刻】

評価：B

今年度も学年関係なく「寝る時刻が遅い」生徒が増えていることが分かります。特に3年生では約20%の生徒が12:00以降と回答しています。また就寝時刻が不安定で、メディア使用時間が増加するに伴い、就寝時刻が遅くなっている傾向が見られます。

## 【メディアコントロール】

評価：(1)B・(2)C・(3)B

メディア等の使用時間が2時間未満を肯定的評価として考えています。

(1)では、視聴時間2時間未満が73%で昨年度とほぼ同じ結果です。

(2)では、使用時間2時間未満が67%で昨年度より、さらに低くなりました。また、3時間以上が15%を超えました。

(3)では、使用時間2時間未満が59%で、市内中学校平均より低い結果になりました。2時間以上の割合が、(1)(2)より多く、携帯電話などでインターネットを使用する生徒が増加していることが分かります。また、保護者アンケートでゲーム・通信機器の使い方について「ルールを決めている」と回答したのは76%で、その内「お子さんがルールを守っている」と答えた方は75%と昨年度よりも10.2%向上しました。今後も御家庭で使用ルールについて話し合ってくださいことをお願いします。